

# (一社)日本印刷学会 第12回「紙メディア」シンポジウム

## 「紙メディアの本質と価値と進化」

日本印刷学会 紙メディア研究委員会では「紙」の役目について、その価値を見直すと共に将来展望を見て参りました。今回も紙メディアを扱う現場の第一線で取り組んでおられる方々をご講師として迎え、最新の情報を交えてご講演頂く予定です。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日 時：2016年2月10日（水）9:00～16:30（懇親会 希望者のみ 16:40～18:00）

会 場：日本印刷会館 2階会議室 東京都中央区新富 1-16-8

（東京メトロ有楽町線新富町下車5番出口徒歩3分；日比谷線八丁堀駅A3出口徒歩5分；築地駅4番出口徒歩5分）

主 催：(一社)日本印刷学会 紙メディア研究委員会

協 賛：〔予定〕紙パルプ技術協会、(一社)繊維学会、(一社)日本木材学会、(一社)日本雑誌協会、  
(一社)日本画像学会、(一社)日本写真学会、(一社)画像電子学会、(公社)高分子学会、  
日本出版学会

### プログラム

8:30 受付開始

9:00 - 9:05 開会の辞

9:05 - 9:55 1. 総説：紙の構造と本質 ～パルプ繊維積層体（湿式抄紙）の天性～

素材としての紙は、最終製品に至るまで様々な加工適性が要求される。紙の生まれの性質が不具合の原因となるケースも少なくない。その本質的な特性について、原料—微視的構造—巨視的力学挙動の関連から紹介する。

王子ホールディングス株式会社 イノベーション推進本部  
紙パルプ革新センター 仲山 伸二

9:55 - 10:45 2. HP Indigo の技術が企業の競争力を強化する（仮）

デジタル印刷が注目されている中、まだデジタル印刷ビジネスの理想と現実にギャップがあります。「各種ビジネスの市場性」、「成功事例の背景」、そして「注目技術の詳細」に踏み込み、お客様の印刷ビジネスを掘り下げて本質を紐解きます。

株式会社日本 HP デジタルプレス事業本部マーケティング&ビジネスディベロプメント  
プログラムマネージャー 秋山 進

— 休 憩 (10:45 - 11:00) —

11:00 - 11:50 3. 古紙リサイクルの現状について

近年、再生紙の原料となる古紙発生量は減少する一方、印刷技術の発展により印刷物の多様化が進んでいる。厳しさを増している古紙リサイクルの現状と、それに対する新たな取組みについて紹介する。

日本製紙株式会社 研究開発本部 総合研究所  
乙幡 隆範

— 昼食休憩 (11:50 - 12:50) —

12:50 - 13:40 4. 紙パッケージにおけるユニバーサルデザイン

パッケージの中でも、紙容器だからこそできる工夫があり、ユニバーサルデザインの実現に向けて、「誰もが可能な限り快適に使用できるように配慮されたパッケージ」について紹介する。

大日本印刷株式会社 包装事業部 企画本部 ユニバーサルデザイン開発室  
古田 晴子

13:40 - 14:30 5. 印刷による偽造防止技術

基材に印刷する可変情報中に潜像を埋め込む技術であるイメージスイッチを中心に、印刷による偽造防止技術について紹介する。

独立行政法人国立印刷局 研究所 製品技術研究部 高橋 寛行

— 休 憩 (14:30 - 14:45) —

14:45 -15:35 6. 微小繊維の流動シミュレーション

紙メディアに関わる生産技術として、流動場における微小繊維の挙動を解明することが重要である。そこで、粒子挙動解析手法のひとつである DEM 法を応用した、繊維流動の数値解析事例を紹介する。

MPM 数値解析センター株式会社 安原 賢

15:35 -16:25 7. プリマグラフィ制作事例から紙メディアのコミュニケーション価値を考える

2000 年からインクジェットによるアートプリント製作を立ち上げ、マンガ、イラスト、写真、文化財の複製物を製作しています。紙とインクジェットによるコミュニケーションの価値を、これまでの制作事例をもとにご紹介していきます。

株式会社トッパングラフィックコミュニケーションズ  
GA 部 プリマグラフィ チーフディレクター 小島 勉

16:25 -16:30 閉会の辞

16:40 -18:00 懇親会 (簡単なお食事を用意しております。)

定 員 : 120名

参 加 費 : 会員、賛助会社及び協賛団体所属員=10,000円、学生・教職員・シニア=3,000円、  
会員外=12,000円 (参加費、懇親会費は当日、会場受付でお支払願います。)

懇 親 会 費 : 1,000円 (懇親会 参加希望者のみ)

申 込 先 : (一社) 日本印刷学会 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内 電話 : 03-3551-1808

申 込 方 法 : ホームページ上のフォームからお申し込み願います HP: <http://www.jspst.org/>